平成19年5月31日
水　　産　　庁

水産物の市況について（平成19年5月及び6月）

―東京都中央卸売市場における平成19年5月（4月21日～5月20日集計）の市況と、
6月の市況見通し（前月との比較）―

Ⅰ　平成19年5月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月より減少となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）はやや強含みに推移しました。

Ⅱ　平成19年6月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」
入荷量は前月よりやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は九州西沖、三重県沿岸域）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」
新物ときさけやべにざけの入荷が始まることから入荷量は前月よりやや増加すると見込まれるものの、需要者側が当用買いに徹しており相場に大きな変動が見られない状況にあるため卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さ　ば（生鮮品）」
入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。（主漁場は駿河湾から伊豆諸島周辺、東シナ海中南部、五島、対馬周辺海域）

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」
入荷量は盛漁期に向け前月より増加すると見込まれるものの、例年に比べては水揚げが少なく供給不足感が解消されないため卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は新潟の佐渡周辺から秋田・青森沖）

「あ　じ（生鮮品）」
入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。（主漁場は山陰沿岸、九州西沖、犬吠埼～房総沿岸）

「まぐろ（冷凍品）」
入荷量は前月並みとと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品）」
入荷量は前月より増加すると見込まれ、卸売価格は弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は伊豆列島東側）

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～ 2 %	並み	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～51	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	―

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格（概数）

（単位：千トン、円／kg）

	5　月		前　月		前々月	
	入荷量	価　格	入荷量	価　格	入荷量	価　格
19年	49	874	57	847	48	875
前年	55	836	59	839	50	835

注1：入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
　2：入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主　要　品　目　の　価　格

（単位：円／kg、%）

	東京都中央卸売市場卸売価格（概数）			
	5 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし（生鮮品）	1，027	136	88	142
さけ・ます（平均）	701	105	103	130
（ぎんざけ塩蔵品）	682	100	98	118
（あきさけ塩蔵品）	525	125	123	189
（ときさけ塩蔵品）	998	168	110	118
（べにざけ塩蔵品）	1，050	121	126	119
（さけ類冷凍品）	650	102	100	134
さば（生鮮品）	342	83	92	90
するめいか（平均）	539	101	115	121
（生鮮品）	731	112	147	146
（冷凍品）	357	104	94	111
あじ（生鮮品）	544	92	103	99
まぐろ（冷凍品）	1，405	100	103	113
（めばち冷凍品）	822	94	90	99
（きはだ冷凍品）	630	72	83	100
（くろまぐろ冷凍品）	3，470	100	113	128
（みなみまぐろ冷凍品）	2，322	94	113	117
かつお（生鮮品）	1，018	80	107	119

注1：品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。
注2：5月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成14年～18年の加重平均値。
注3：さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。
注4：さけ・ます（平均）は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。
注5：まぐろ（冷凍品）は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先：水産庁加工流通課調整班
代表　03－3502－8111
内線　6616　岡本、嶋田
直通　03－6744－2350